



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R.1テーマ  
ロータリーのマジック

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	古本良子	幹事	谷野秀之	会報委員長 上野宗久

### 第1895回例会 2024年8月28日(水) ガバナー公式訪問

2024年9月17日発行 第1696号

【ガバナー公式訪問】飯能・日高 RC 合同 於：ヘリテイジ飯能

～スケジュール～

11:00~11:30 懇談会 ガバナー・ガバナー補佐  
会長・幹事・副会長・会長エレクト

11:40~12:20 入会3年未満の会員との懇談会  
ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・副会長・会長エレクト  
日高 RC 会員2名(松井、鬼澤)

12:30 開会の点鐘(飯能 RC 会長)

13:00 記念卓話(五十幡和彦ガバナー) 紹介(飯能 RC 会長)

13:30 閉会の点鐘(日高 RC 会長)

終了後 記念撮影(1. 飯能 RC 2. 日高 RC)

～クラブ協議会～ 14:00~15:00



『ロータリーのマジック』

～2024-25 年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック～

マクマリー・ロータリークラブ (米国ペンシルバニア州) の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」と申しております。そして、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。とのメッセージを頂きました。



～2024-2025 年度 第 2570 地区スローガン『“入って良かったロータリー”』～

会員数の減少に直面するロータリーにあって、考えていただきたいのは「これまでロータリーに入っていた自分」と「もし入っていなかった場合の自分」です。今日までクラブを退会せずに在籍しているのは何らかの理由があるはずですが、ロータリークラブに入って良かった体験があるはずですが、ロータリーでは様々な出会いがあります。様々な学びがあります。そして地域社会や世界平和に貢献出来る奉仕活動があります。今日までの自分の成長も、会社の発展も、世界平和の一助に貢献出来ているのも、全てはロータリークラブに入っていたからではないでしょうか。私たちは「ロータリーに入って良かった」ことや、ロータリーで出会った様々な感動と魅力—Rotary Moment—を、会員誰もが周りの人に語れるようにしなければなりません。ロータリーに入って良かった、という思いと体験が退会防止につながります。そして新会員を勧誘する一番の原動力になります。自分を磨き、事業も磨き、世界平和に貢献するために、そして『Rotary Moment』会員誰もが、ロータリーで出会った感動と魅力を語れるように邁進したいと考えております。

～地区方針～

1.ロータリーの奉仕活動のブランド化

【クラブ】クラブの奉仕プロジェクトのブランド化

ロータリーに入って良かったという思いは「体験」でしか実感できません。その為にはクラブで取り組む奉仕プロジェクトの充実が大切です。充実した奉仕プロジェクトを行うことにより、ロータリーの公共イメージが向上し、その魅力が会員増強につながり、更に大きな奉仕プロジェクトが可能になります。そして各ロータリークラブは、何をやっている団体なのか地域の皆様に分かってもらえるブランド力を付けることが必要です。会員誰もが自分のクラブの行っている奉仕活動を、自信をもって語れることが大切です。ロータリーが地域に、無くてはならない団体、必要とされるために、各クラブの奉仕活動をブランド化していきましょう

2.各クラブ2名以上の会員数純増と DEI の推進

クラブの奉仕活動においても、ポリオ根絶活動においても、より大きな奉仕プロジェクトを実現するためには、より多くの会員と共に活動を行うことが必要です。そして会員増強が出来ないクラブはやがて存続の危機に直面します。そのためにも各クラブ2名以上の会員数純増が必要です。会員がクラブに参加して楽しいのは、①居心地が良いこと、②自分が大切にしてもらえていることです。そのためにクラブは DEI (多様性、公平性、インクルージョン) を推進し、あらゆる人が歓迎されるクラブにしましょう。

3.ロータリー財団への理解と寄付目標達成

ロータリーの目指す世界平和、ポリオ根絶には財源が必要です。こうした「世界でよいことをしよう」をモットーとする貢献を、持続可能にすべく法人化されたのがロータリー財団であり、公益財団法人ロータリー日本財団は「特定公益増進法人」として税制上の優遇措置が認められています。世界平和とポリオを根絶するためにも、ロータリー財団への理解と年次基金など目標達成に向けた会員とクラブによるロータリー財団へのご理解と寄付をお願いします。

4.行動計画 (指針) 他、ロータリーの取り組みと理念の再確認

今日まで 120 年近くロータリーが継続発展してこられたのはロータリーの目的、標語、四つのテスト、行動規範、中核的価値観など会員の共感を呼ぶ優れた理念があったからです。そしてこれからの新たな時代の変化に対応し、世界に必要とされる団体としてあり続けるため行動計画 (指針) を定め、2024 年から新たに「3年間の目標と計画 (3-Year Rolling Targets)」が発表されました。改めて私たちはロータリーの理念を大切に、新たな時代の変化に対応すべく目標を設定し達成していくことが必要です。

5.次の世代にロータリーのすそ野を広げるローターアクトクラブ支援

次の世代の理解と支持なくして団体の未来はありません。国際ロータリーは未来に向けて若い世代にロータリーの活動を広げるべく、ローターアクトクラブの設立を推進しています。私たち国際ロータリー第 2570 地区は日本で初めてのローターアクトクラブを設立したにもかかわらず、現在地区内のクラブは 2 つにとどまっています。今年度は新たなローターアクトクラブ設立も含め、次の世代にロータリー活動のすそ野を広げていきましょう。どうか、飯能、日高 RC の会員皆様の御力添えを宜しくお願い致します。

出席報告	8月28日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	8/6 修正率
	昼間	18	13	2	5	68.75%	100%